

### 基本方針1 都市の成長を高める広域交通体系の構築

- 北陸新幹線新高岡駅の利便性向上に向けた誘客・送客促進
  - ・関西圏における個人観光客誘客プロモーションの実施
  - ・駅や新幹線車内で配布される月刊情報誌への観光PR記事掲載
  - ・北陸地域内新幹線利用促進キャンペーンの実施 (R7.10~R8.2)



(雨晴デッキ)

- 広域交通体系を活かした観光誘客の促進
  - ・雨晴駅展望デッキ「AMAHARASHI VIEW」の供用開始 (R7.12~)

- 城端線・氷見線の再構築
  - ・県、沿線市、交通事業者と連携し再構築事業を検討・実施
  - ・新型鉄道車両の車両デザインの決定
  - ・交通系ICカードの導入の決定 (後掲)



(城端線・氷見線新型車両イメージ)

### 基本方針2 交通資源のフル活用による市内の移動利便性の確保

- 公共交通の効率的な運行に向けた交通事業者間の連携
  - ・市民にやさしい公共交通の実現に向けた勉強会の開催
- 市民協働型地域交通システムのエリア拡大
  - ・守山地区「もりまる」の区域拡大 (R7.9~)
  - ・戸出地区で市民協働型地域交通システムの導入に向けた検討を開始

- 担い手の確保
  - ・国や県と協調した支援制度の継続実施
  - ・高岡市バス運転体験会の実施



(バス運転体験会)

- 万葉線の利便性向上
  - ・安定的な運行を維持するための支援
  - ・新型車両の検討

### 基本方針3 交通DX推進等によるサービス水準の向上と 安全・安心な交通環境の維持

- 相互利用可能な交通系ICカードの導入
  - ・城端線・氷見線交通系ICカードの導入 (R8.3.14~)
  - ICOCAのほか、全国相互利用対象の交通系ICカード (Suica、PASUMO等) も利用可能



(ICOCAカード)

- 公共交通を組み合わせたイベントの実施
  - ・県内市町村、交通事業者と連携して、夏休み期間におでかけきっぷの配布を共同実施

- 観光型MaaSを活用した企画商品の販売支援
  - ・訪日外国人を対象とした高速バス、新幹線のフリーパス、市内施設のセット商品の造成・販売及びプロモーション

### 基本方針4 生活の中で公共交通を利用する ライフスタイルの普及・浸透

- マイバス・マイレール意識の醸成
  - ・路線バス整備工場見学ツアーの実施
  - 万葉線におけるイベントの実施
    - ・万葉線まつり (R7.6)
    - ・沿線園児による飾りつけ (七夕、ハロウィン)
    - ・新市誕生20周年記念 万葉線電車まつり (R7.11) 等



(路線バス整備工場見学ツアー)

- モビリティ・マネジメントの推進
  - 万葉線まつり開催時に、交通事業者と連携した公共交通乗り方体験を実施



(万葉線まつり)

- ノーマイカー運動の推進
  - 市民ノーマイカーフライデーの実施
  - 県「電車・バスで行こう！」キャンペーンやたかおかSDGsDAYs等の開催時期も踏まえて年4回開催